

企画展示

送り火

五山と消えた「い」

大
丹

法
妙

大

2021年8月2日（月） - 9月20日（月）※開期延長

京都の夏の風物詩

といわれる「五山の送り火」は、地元住民によって支えられ受け継がれてきた伝統行事です。実はそれぞれに火床の形状が異なる送り火ですが、遠目には気づくことは難しいでしょう。午後八時、大文字の点火をかわきりに、一気にあるいはじわじわと広がる闇夜の灯火。感嘆の声を上げつつ眺め入る人々の姿は、今も昔も変わることはありません。

今月の展示では、そうした送り火について記述した資料の数々をご紹介します。すでに廃絶した「い」が描かれた絵図など、なかなか目にする機会のない資料を、ぜひともご覧ください。

佛教大学 図書館